

今年の返礼品のトレンドは「日用品」 泉佐野市ふるさと納税で普段使いの『泉州タオル』が大人気 ～泉州タオルの申し込みは、昨年同時期比 1.7 倍超と絶好調～

▶ 泉佐野市は、日本タオル発祥の地、“タオルのふるさと”、130 年以上の歴史

▶ 泉佐野市は、タオルの返礼品掲載数が日本一※1

▶ 泉佐野市ふるさと納税で『泉州タオル』が選ばれるには理由がある！

ふるさと納税の返礼品と言えば、過去には、「肉、カニ、米」が、ふるさと納税三種の神器と呼ばれ人気でしたが、昨今は、物価高騰の影響で節約のためふるさと納税を活用される方が 51.7%※2 と増加傾向にあり、そのため日用品使いの物を返礼品に選ぶという方が 40.8%※3 という調査結果があります。

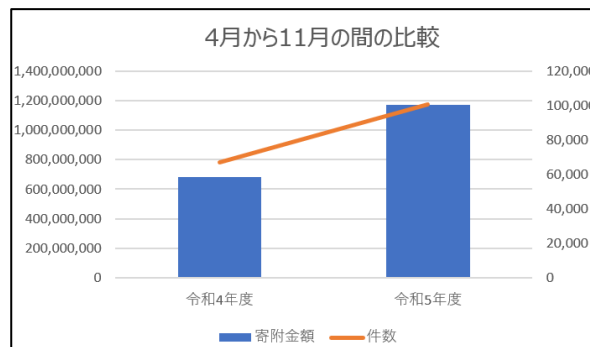
泉佐野市（市長：千代松 大耕）においても同様に日用品が多くの方に選ばれており、特に『泉州タオル』が、昨年同時期比、件数で 1.5 倍※4、金額で 1.7 倍※5 と沢山の寄附をいただいています。

本市は、日本のタオル産業発祥の地として、タオル産業は、130 年以上の歴史があり、“タオルのふるさと”と言えます。なお、タオル製造に関わる事業者は 75 社※6 あります。また、ふるさと納税に返礼品を提供する事業者は 30 社あります。これら事業者にご協力いただき、本市では、1,000 以上の多種多様な泉州タオルを提供しています。

『泉州タオル』が返礼品に選ばれる理由は、抜群の吸水性と風合いにあります。

これらを生み出す秘密は、不純物を取り除く伝統の“後晒製法”にあり、この製法により肌ざわりが良くなり、“ふんわりとしたやわらかさ”と“心地よさ”が生まれます。このようなことから、『泉州タオル』は、機能性が高く、普段使いのタオルとして人気で、国内製造シェアは約 40%※7 を誇ります。

本市では、今後もふるさと納税を活用した地場製品の PR、販売促進、さらには地場産業の活性化につなげてまいります。



※1 ㈱トラストバンクが運営するお礼品掲載数 No1 サイト「ふるさとチョイス」内のタオル調べより

※2 ㈱トラストバンク：「今後のふるさと納税のトレンド予測」

※3 ㈱トラストバンク地域創生ラボ：「ふるさと納税体験に関する調査 2023」

※4 令和4年4月から11月：約6万7千件、令和5年4月から11月：約10万1千件

※5 令和4年4月から11月：約6億8千万円、令和5年4月から11月：約11億7千万円

※6 令和5年12月1日現在、大阪タオル工業組合に加入している事業者数

※7 2022年1月から12月の経済産業省生産動態統計調査について大阪タオル工業組合より提供

泉州タオルとは、歴史と伝統を誇るタオル産地、大阪泉州地域で生産されるタオルのことで、吸水性にすぐれ、肌触りの良い、安心・安全な国産タオルです。あまり知られていませんが、日本のタオル産業発祥の地は、大阪・泉州地域の泉佐野市（当時の「佐野村」）です。歴史と伝統に育まれた技術で、タオル職人が腕によりをかけてこしらえたタオル、それが泉州タオルです。1887年（明治20年）から続く大阪・泉州タオル産地では、後晒（あとざらし）製法と呼ばれる独特な製法を一貫して守り通してきました。“さらし”とは、糸に付いた不純物を取り除き（精練）、白くする（漂白）工程のことです。タオルを織る際に糸切れを防ぐため、糸につけた糊（のり）や、材料である糸（＝綿くわた）にもともと付着している油分や不純物をきれいに全て取り除くべく、漂白・水洗いする必要があり、その工程を“さらし”と言います。後晒タオルは、その“さらし”をタオルが織り上がった後で行うことによって、吸水性に優れた肌ざわりの良いタオルになります。（出典：大阪タオル工業組合 web サイト URL：<https://www.senshu-towel.jp/>）

▶各ポータルサイトの『泉州タオル』一覧ページ

- 『さとふる』 <https://x.gd/2BJC2>
- 『ふるさとチョイス』 <https://x.gd/259ZJ>
- 『楽天ふるさと納税』 <https://x.gd/51C6a>
- 『ふるなび』 <https://x.gd/1qlmK>
- 『さのちよく』 <https://x.gd/LjNYq>



▶ふるさと納税型クラウドファンディング『#ふるさと納税3.0』の取組みで『泉州タオル』を支援中！

泉州タオルを救え!タオル工場リニューアルプロジェクト <https://x.gd/5woLg>



【プロジェクト概要】

私たちは、泉州のタオル産業を再活性化させるため、幅広い層の人々が利用できる商品の開発を目指しています。そして、工場見学プログラムを通して、この泉州地域に根付いているタオル産業を継承していきたいと考えています。このプロジェクトで『見て、触れて、使ってみて。泉州タオルの魅力を伝える工場』をつくれます。

泉佐野製高付加価値タオルの安定供給プロジェクト <https://x.gd/GzeUo>



【プロジェクト概要】

伝統的なタオル産業が安価な海外製品に押され、年々売り上げが減少する傾向にあり、生産能力の著しい低下で安定的な供給が難しくなっています。そこで弊社で年間商品のストックによる管理をし、年間を通して均一的な生産をすることによって安定供給につなげたい。職人にも余裕をもったモノづくりを確立します。それによって、泉州タオルのラグジュアリー化をすすめ、良いタオルは泉州タオルと思ってもらえるブランディングをしていきたいと考えています。

『職人の想いが詰まったタオルと箱の贈り物』プロジェクト <https://x.gd/eiDew>



【プロジェクト概要】

コロナ禍前ではタオルのギフト加工需要が多々ありましたが、コロナ禍を機に減少傾向にあります。また、タオル職人の高齢化、若年層が職人として定着しないことにより徐々に職人数が減少しています。ギフト加工需要の復活により地場産業の技術を繋ぎ、後世を担う職人を育てるため、タオル贈答品に携わってきた経験を生かし、変化する消費・購買行動に対応し、タオルのギフト加工の需要喚起に挑戦します。

『人生に寄り添うタオル』製造現場公開プロジェクト <https://x.gd/f2Q1R>



【プロジェクト概要】

“人生に寄り添う”をコンセプトに、生まれた時からずっと Shinko Towel のタオルを選んでいただけるよう、ベビーブランド、ライフスタイルブランド、ホテルクオリティーブランドをご用意し、他にはないタオルの使い心地とともに一貫した世界観をご提供しています。今回、皆様はこの世界観を感じていただける空間づくりをご提供出来る返礼品をご用意しています。

泉州タオル技術を活かした高級ガーゼケット製造プロジェクト <https://x.gd/bUZqX>



【プロジェクト概要】

泉佐野市でオーガニックコットンを使った「泉州タオル」を企画・製造してきました。良質で人に優しいタオル、地球に優しいタオルを目指し、様々な商品開発に取り組んでいます。今回のプロジェクトで開発するガーゼケットによって、泉州タオルに新たなラインナップが加わり、メイドインジャパンの良さが再認識されるよう頑張りたいと思います。

▶特設サイト「さのちよく」「#ふるさと納税3.0」プロジェクト一覧

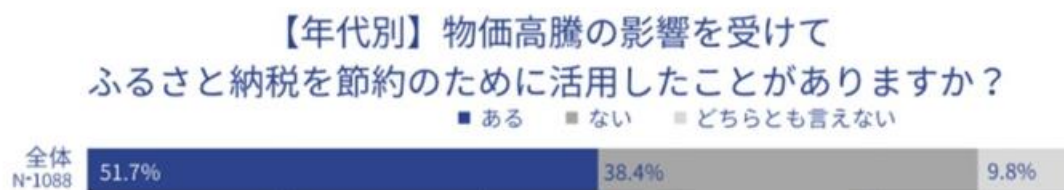
URL: <https://furusato-izumisano.jp/3/project.php>



<資料>

※ 2 (株)トラスバンク:「今後のふるさと納税のトレンド予測」

(<https://www.trustbank.co.jp/newsroom/newsrelease/press728/>)



※ 3 (株)トラスバンク地域創生ラボ:「ふるさと納税体験に関する調査 2023」

(https://note.com/tb_regional_lab0/n/nbbae05da1ad3?magazine_key=mbf5273fa8960)

ふるさと納税の寄付をするときにお礼の品を選ぶ際の基準は何ですか？
(3つまでの複数回答)



本件に関する報道機関のお問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 ふるさと創生課: 塩見 (しおみ)、中嶋 (なかじま)、林 (はやし)

TEL: 072-463-1212(代表) FAX: 050-3488-2033 E-mail: furusatotax@city-izumisano.com